

わかさ 社協だより

vol.50

2016年
6月20日発行

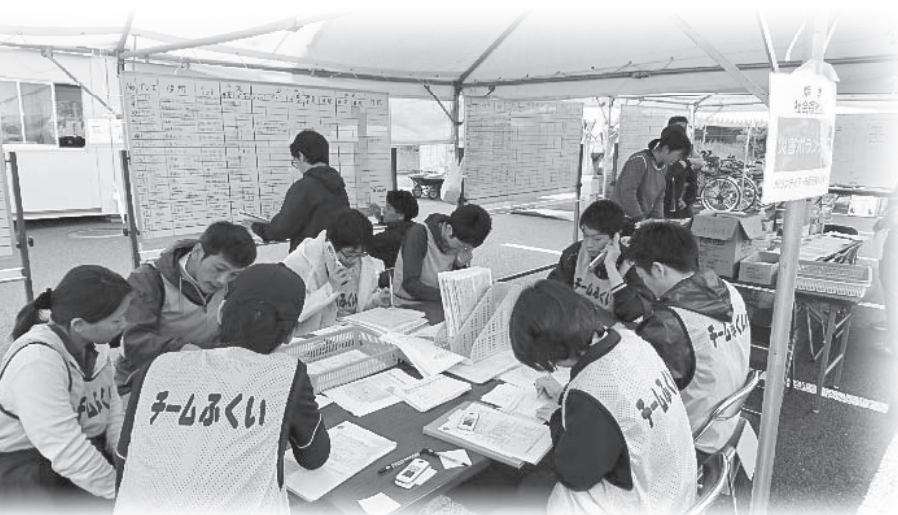


災害ボランティア ～今、私たちにできること～



平成28年4月14日、午後9時26分以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震により、県内各地において人的被害をはじめ、家屋の倒壊等甚大な被害が発生しました。

地震発生から約2週間、福井県内からも熊本市へ4月29日から5月8日まで約20名を1班とし、合計5班で災害ボランティアセンターの運営支援や被災家屋の清掃等ボランティア派遣を行い「チームふくい」として活動しました。



被災地支援活動に参加して



宮川 将
若狭町社会福祉協議会
パレオ若狭本所
地域福祉事業担当

「チームふくい」の一員として、5月1、2日の2日間熊本市での支援活動に参加しました。現地は、被災してからまだ2週間しかたっておらず、災害ボランティアセンターも立ち上げたばかりの状態でした。しかし、ボランティアセンターのサテライト施設だけでもベトナムからの留学生や鹿児島県からの高校生など1日で200名を超える方がボランティア活動に参加していました。鹿児島県からは高校生が自発的に参加し、片道4時間もかけて通っているということや、一生懸命にボランティア活動をしている姿に感銘を受けました。

私は、避難所から自宅に戻ってこられたばかりのひとり暮らし高齢者宅に行き、落下した瓦

の撤去や室内で散乱したガラスの片付け、倒れたタンスを元の位置に戻す作業のお手伝いをしました。今回の活動をとおして、すごく感謝していただき嬉しい気持ちになった反面、ニーズがまだまだ埋もれていることなどの課題を知る機会となりました。困っていても誰に相談したら良いかも分からず、手がつけられない状態の方がまだまだいらっしゃるのではないかと感じました。

一緒に活動していただけた民生委員さんは「今回の災害で、住民同士の絆がより深まった」とおっしゃっていました。この民生委員さん自身も被災し避難生活を送っていましたが、自宅の片付けが大変で避難所から帰りがたらない近所の高齢者を説得し一緒に自宅に戻り、片付ける段取りを行っていたそうです。そこには、地域の中で普段から見守り活動を行っているからこそその信頼関係が見て取れました。

まだまだ課題が山積みだと思いますが、たとえ時間がかかったとしても、人と人とのつながりによって必ず復興できると信じています。

災害ボランティア ～ボランティアとして大切なこと～

災害ボランティアとは、災害発生時に支援などを行うボランティアのことです。炊き出しなど実際に被災地に出向いての活動だけでなく、募金活動など今自分が住んでいる場所で自分のできることを行うのもそのひとつです。

大切なことは、自分のできる範囲の活動を行うことと、ボランティアをしたいという気持ちです。



災害義援金の行方

若狭町共同募金委員会にてお預かりした

義援金(6月13日現在)

265,067円



義援金は、災害などで被災された方々の支援のために使われるお金です。

若狭町社協で受け付けた義援金は福井県共同募金会へ送金します。その後、全額を被災県共同募金会に送金します。被災県共同募金会では行政や関係機関で構成する義援金配分委員会で配分を決定し被災者に届けます。

多くの皆さまに心のこもった募金をしていただきまして、ありがとうございました。

引き続き、平成29年3月31日まで若狭町社協にて義援金を受け付けております。ご協力よろしくお願いいたします。



義援金を持ってきてくださった鳥羽小学校児童会の皆さん



若狭町社協

皆さまから募金していただいた義援金



福井県共同募金会

県内市町社協で受け付けた義援金を取りまとめる



被災県共同募金会

義援金配分委員会で配分を決定



被災地へ

委員会で決まった配分をもとに、各被災地へ届けられる

「社協会費」ご協力お願いいたします!!

■ 平成27年度に皆さまよりお預かりした会費の金額 **3,811,540円**

お預かりした会費は、地域福祉向上のために、また平成28年4月から平成33年3月までを期間といたしました「みんなで支える幸せプラン（第3次若狭町地域福祉活動計画）」に基づいた活動のために、重要な役割を果たしていきます。今後、さらに充実した事業を推進していくためにも、更なるご理解・ご協力お願い申し上げます。

／ 社協が行う地域福祉事業は地域住民の皆さまによって支えられています ／

会費の使い道（若狭町の地域福祉事業に）

外出支援事業

1,000円の内訳：150円

公共交通機関の利用が困難で医療機関への通院が難しい高齢者や障がい者を対象とした送迎を行っています。



利用者の声

- いつもお世話になりありがとうございます。高齢者のみの生活で運転免許もなく本当にありがたく思っております。今後ともよろしくお願いいたします。
- 乗降時とても親切に配慮してくださいます。
- いつも気配りしていただき感謝あるのみです。

小地域福祉活動推進事業

1,000円の内訳：373円



支え合い活動

集落の支え合い・助け合い活動を推進するため、研修会の開催や活動を推進しています。

第3次地域福祉活動計画の推進

1,000円の内訳：165円



地区別福祉懇談会や冊子・ダイジェスト版・広報誌などを活用し、「みんなが支え合い、すべての人が幸せを感じられる、心地よい地域づくり」の実現に向けて取り組みます。

ボランティアセンター運営事業

1,000円の内訳：134円



家屋補修ボランティア

ボランティア活動の拠点としてボランティアのコーディネートや出前講座等を開催しています。

福祉総合相談事業

1,000円の内訳：35円



住民の方々の抱える生活上のあらゆる相談に応じます。

- 若狭町法律相談
- 若狭町心配ごと相談

障がい者アート作品公募事業

1,000円の内訳：143円



きらりアート展

障がい者の芸術才能の発掘と生きがいづくり及び、障がい者の理解と共生社会の実現のため公募事業を実施しています。



3分でわかる豆知識

Vol.2

食中毒予防のポイント ～家庭での食中毒に気をつけて!～

6月～9月は、湿度や気温が高く細菌が増えやすいため、細菌性の食中毒に注意が必要です。今回は家庭での食中毒の予防法についてご紹介いたします。



食中毒を防ぐための3つのきまり

3つのきまりを守ることによって食中毒を防ぐことができます。それは、原因となる細菌やウイルスを『つけない』『増やさない』『やっつける』です。

つけない

細菌やウイルスは小さくて目で見ることができないため、食品についているか、ついていないかを確かめることはできません。

つけないためには

手や洗える食べ物はしっかり洗う。まな板、包丁、食器をきれいに洗い清潔にしましょう。肉や魚はほかの食品と分けて包んで保存しましょう。



増やさない

細菌やウイルスは時間とともに増えてきます。また、室温（約20℃）で活発に増殖し始め、人間の体温ぐらいの温度で増殖のスピードが最も速くなります。

増やさないためには

生ものや作った料理は早く食べるようにしましょう。すぐに食べない料理は、冷蔵庫に入れて保存しましょう。冷凍された食品を解凍するときは、冷蔵庫内や電子レンジで行うようにしましょう。



やっつける

細菌やウイルスの多くは高い温度に弱いので、十分に加熱することでやっつけることができます。

やっつけるためには

料理をするときは、食材の中心まで熱が通るよう、十分に加熱しましょう。食品を加熱するには、焼く、煮る、蒸す、揚げる、ゆでる、炒めるなどのほかに電子レンジも利用できます。



※食中毒の予防（農林水産省）をもとに作成

もしも食中毒かもしれない。。。と思ったら?

おう吐や下痢の症状は、原因物質を排除しようという体の防御反応です。医師の診断を受けずに、むやみに市販の下痢止めなどの薬を服用しないようにし、早めに医師の診断を受けましょう。



赤い羽根共同募金助成金事業

寄付者へのありがとうメッセージ

若狭町母子寡婦福祉連合会 すまいる会



会員の親睦を深め楽しみながら生活面での資質向上をと考え事業を計画致しておりますが、財政面では非常に厳しく共同募金の助成金は会の運営上なくてはならないものになっております。

そんな中、計画をたてて今回は手芸講座とお正月用の寄せ植講座の2つの講座を開催致しましたが、どちらも好評で皆さんに大変喜んでいただきました。

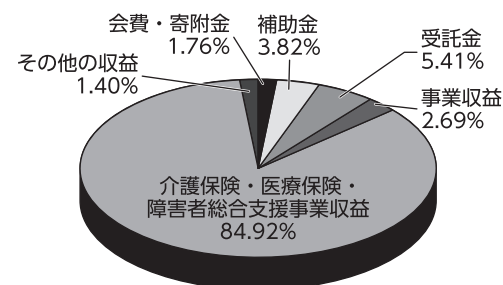
今後も、助成金の成り立ちをふまえ、感謝の気持ちを忘れずに事業を続けたいと思っております。

町民の皆さまの善意に心よりお礼申し上げます。

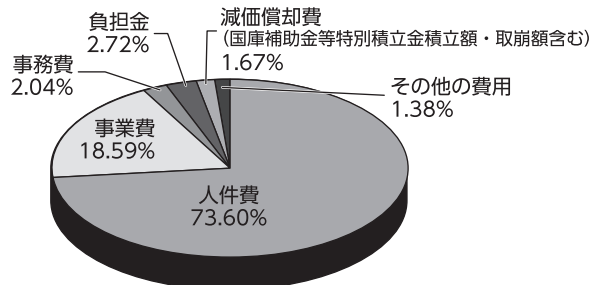


平成27年度決算

〈収益の部〉決算額：672,492,749 円

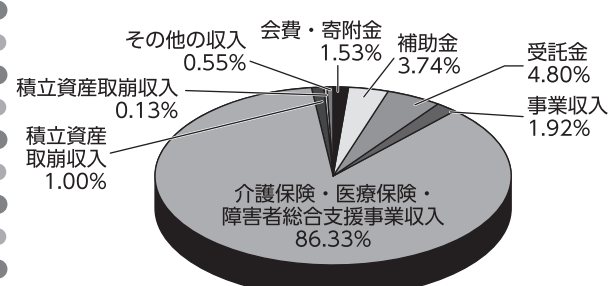


〈費用の部〉決算額：684,576,406 円

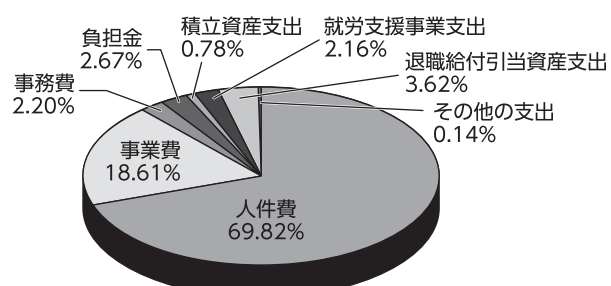


平成28年度予算

〈収入の部〉予算額：708,571,000 円



〈支出の部〉予算額：700,334,000 円



第7回きらりアート展作品募集中!

出品申込締め切り 8月31日(水) 当日消印有効

本展は、障がい者の社会参加やアート活動の推進を目的として、障がい者アート作品を公募しています。今年もたくさんのご応募お待ちしております!

■募集作品 絵画・版画・書・写真・平面的な造形工作物や織物など、壁に展示できる平面アート作品

■応募資格 福井県内在住または在勤している障がいのある方およびそのグループ
福井県内の特別に支援を必要とする児童・生徒およびそのグループ

応募される方は申込書(下記よりダウンロード可能)に必要な事項を記入してください。その他、詳しい内容については募集要項をご覧ください。か下記事務局へお気軽にお問い合わせください。URL: <http://www.w-shakyo.or.jp>

問い合わせ きらりアート展実行委員会事務局(パレア若狭本所内) TEL: 0770-62-9005 担当: 山本

サマーボランティア体験2016

夏休みにボランティアをしよう!

福祉施設でのお手伝いや環境保護活動など、豊富な活動メニューの中から興味・関心のあるボランティア活動を選んで体験することが出来ます。この夏新しいことにチャレンジしてみませんか?

■ボランティア体験期間 平成28年7月21日(木)～9月30日(金)

■ボランティア参加申込受付期間 平成28年7月1日(金)～9月16日(金) ※団体の場合のみ。個人は9月21日(水)まで。

■参加対象 福井県内に在住する小学生高学年以上で、ボランティア活動に関心のある方。
ただし、小学生は原則、保護者同伴とします。

■町内の受け入れ先

- 特別養護老人ホーム 松寿苑
- 若狭町社協(五湖の郷事業所 高齢デイサービス、障がいデイサービス、グループホーム)

問い合わせ 若狭町社会福祉協議会 パレア若狭本所 TEL: 0770-62-9005 担当: 宮川

「個人向け福祉自動車貸出し事業」貸出し場所変更について

外出のための公共サービスや民間サービスの利用が困難な方を支援するために車両を貸出すことで、親族、家族内の助け合いと社会参加の促進を図ることを目的として五湖の郷事業所で行っていましたが、より良い利用方法の検討を行い5月からパレア若狭本所に貸出し場所と車両が変更になっております。

問い合わせ 若狭町社会福祉協議会 パレア若狭本所 TEL: 0770-62-9005 担当: 宮川

福祉サービスの苦情解決をお手伝い

福祉サービスを利用して
◎いやな思いや、ケガをした
◎サービス内容に不満がある
◎職員の対応が悪い など

事業所に直接話しにくかったり、事業所との話し合いで解決できなかった場合などお気軽にご相談ください。秘密は必ず守ります(匿名でもかまいません)。
【相談時間】月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
(祝日・年末年始は除きます。)

問い合わせ 福井県運営適正化委員会(〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉センター1階)
TEL: 0776-24-2347 FAX: 0776-24-8942 E-mail: kujyo@f-shakyo.or.jp

若狭町社協によせられた平成27年度の苦情・要望件数

・ケアの内容に関すること 1件
・その他 4件

以上5件の貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。これらは、すべて解決しております。今後も若狭町社協で実施している事業について、皆さま方のご意見を真摯に受け止め、さらなるサービスの質の向上を目指してまいります。

山口久四郎様(若狭町気山)より

「交流高圧電位治療装置」をいただきました

この装置は、通電によって頭痛、肩こり、慢性便秘などに効果を発揮するものです。いただいた装置は、小規模多機能ホームきやま虹の家にて有効に使わせていただきます。
ありがとうございました。



やさしさを
ありがとう

平成28年3月24日～5月20日

「社会福祉事業に役立てて下さい」と下記の方々よりご寄付をいただきました。預託や寄付いただきました物品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。下記以外にも多くの方々より、使用済み切手やエコキャップ等のご寄付をいただきました。ありがとうございました。
(敬称略・順不同)

福祉基金			
田中 文明(若狭町南)	300,000円	河村 良則(若狭町世久見)	200,000円
匿名(若狭町横渡)	100,000円	若狭町グラウンドゴルフ協会(会長 井上幸夫)	11,000円
若狭テクノパーク(支配人 武田寛)	46,000円	匿名(若狭町相田)	50,000円
久池 晃一(若狭町能登野)	100,000円	匿名(若狭町海山)	3,000円
匿名	200,000円		

物品預託			
匿名	オムツ	匿名	タオル
匿名	タオル・風呂敷	匿名	みそみ女性の会 せっけん・タオル
		匿名	オムツ・シャツ

キラめく福祉人

老人保健施設
ゆなみ
医療法人 敦賀温泉病院



なか むら な お
中村 奈央

若狭町北前川

- 勤務先：介護老人保健施設ゆなみ
- 職種：介護福祉士



Q どのような仕事内容ですか？

介護職です。
何らかの理由で、思うように身体が動かなくなった方などが生活する上で不自由な部分や困っている部分を補うお手伝いをさせていただいています。

Q やりがいを感じる時は？

ご利用さんの気持ちが分らず辛い時もありますが、関わりの中でどのようにしたら良いか試行錯誤している時や、ご利用さんのいつもと違う表情が見られた時です。

Q 福祉の仕事を知ってもらうために一言！

介護職はご利用さんにとって1番身近な存在だと思っています。これからもご利用さんにとって良いパートナーであり続けたいと思っています。
ゆなみでは夏祭りや介護教室等、地域の皆さんに参加していただける催しもありますので、お気軽にお越しください。



三方中学校 文化科学部

《人数》

1年生3名、2年生4名、3年生6名 合計13名です。

《顧問・部長》

【顧問】椎崎 聡美 川畑 成央
橋本和佳奈

【部長】加藤 愛結

《練習日時》

火曜日～金曜日 16:10～18:00

《実績》

福井ジュニア文学賞(佳作)
きらりアート賞 等



部長
加藤 愛結

部活内容は？

個人のテーマ、校内の新聞作り、実験などを行っています。現在は、校内発表に向けてプログラミング、微生物の観察、ダイラタンシー現象についてのプレゼンテーションを作成しています。

目標は？

- ・校内発表を成功させること。
- ・個人参加のコンクールに入賞すること

夢は？

文化科学部の活動はあまり知られていないので、活動をもっとよく知ってもらいたいです。

みなさんの部活を漢字1文字で表すと？

「混」です。いろいろな個性を持った人が集まっているからです。

1番の思い出は？

昨年、古生代についてまとめるために勝山の恐竜博物館に行ったことです。化石の発掘体験が楽しかったです。



ふれあいネットワーク
社会福祉 若狭町社会福祉協議会

〒919-1541

福井県三方上中郡若狭町市場18-18 TEL: 0770-62-9005 FAX: 0770-62-1725

URL <http://www.w-shakyo.or.jp> E-mail honbu@w-shakyo.or.jp